

平成 27 年度 第 3 回いわき市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
(子ども・子育て会議) 議事録

1 開催日時

平成 28 年 2 月 4 日 (木) 午後 3 時から午後 5 時 30 分

2 開催場所

いわき市役所東分庁舎 5 階 大会議室

3 出席者

(1) 児童福祉専門分科会委員 (15 名のうち 10 名出席) ※五十音順

猪狩利江委員、市川英雄委員、伊藤順朗委員、草野祐香利委員、強口暢子会長、
菅波香織委員、鈴木潤委員、新妻英昭委員、宮内隆光委員、柳沢俊郎委員

(2) 事務局 (11 名)

こどもみらい部：園部次長

こどもみらい課：阿部課長、藁谷統括、塩田係長、根本係長、吉田主査、田野事務主
任、比佐主事

こども支援課：山形課長、七海係長

こども家庭課：藤田課長

4 議 事

(1) 協議事項

① 育児休業に伴う入所取扱いの見直しについて (資料 1)

② 教育・保育施設 (公立) の整備のあり方 (案) について (資料 2)

(2) 報告事項

① いわき子ども・子育て支援サイトの開設について (資料 3)

5 その他

(1) 会議の成立

事務局より、委員 15 名中 10 名が出席しており、いわき市社会福祉審議会条例
第 5 条第 3 項の規定による半数以上の出席があり、会議が成立していることを報
告した。

(2) 会議開催形式

本日の会議を公開することについて、情報公開等の観点から特に支障が生じる
事由がないことを確認した。

議事録の作成については、議事に直接関係する発言又は説明内容のみを記録し、
委員名を記録しない「要点筆記方式」で作成することとした。

(3) 議事署名人

強口会長の指名により、草野祐香利委員及び菅波香織委員の 2 名を選出した。

(4) 傍聴人

なし

6 発言内容

(1) 協議事項

① 育児休業に伴う入所取扱いの見直しについて（資料1）

発言者	発言内容
事務局	資料1に基づき説明（こども支援課長）
会長	事務局からの説明のとおり、今年の4月から、育児休業中の保育所利用について、制限を設けないとのことだが、ご意見・ご質問等はあるか。
A 委員	<p>育児休業中の保育所利用に制限を設けないことは大変いいことだと思う。育児休業中で保育所利用していた方が退所して、うちの園を利用しているケースがあるが、幼稚園だと預かる時間に制限があり大変である。</p> <p>ただ、心配なのが、制限を設けずに預かりを続けると、いわき市では待機児童が出ているうえに保育所が空いていない状況で、新たに保育所を利用したいという方が増えてくるのではないかと思う。</p> <p>色々な新聞報道の中で、幼児施設の中で虐待があるということについては、最近、急に保育所が増えてきた地域で起きている印象があり、保育の質ばかりでなく、最低限の安全という点で心配があるので、そのあたりを市で十分に精査していただきたいと感じている。</p>
会長	その他、関連して何かご質問・ご意見あるか。
B 委員	<p>私も、育休中に保育所を利用できるようになるのはいいことだと思う。</p> <p>あと、第2子を出産して、上の子どもを預かってもらっている保育所と同じ保育所に行けるかどうかという話をよく聞かれるが、その辺の対策はどのように考えているのか。</p> <p>継続入所できることはいいことだが、第2子目、第3子目の対応について教えてほしい。</p>
会長	この辺で、ご意見を踏まえて、事務局から状況や考え方を示していただければと思う。
事務局	<p>今年度に入って待機児童が出ているという状況はある。それについては、本市では統合保育を以前から行っており、障がいの程度に応じて、職員を加配している状況にある。統合保育により人手が多くかかるが、その分、手厚く対応しており、引き続き行っていく。</p> <p>一方で、待機児童が出ているが、保育士の確保などを積極的にPRするなどして、引き続き待機児童の解消に努めていきたいと考えている。</p> <p>また、第2子が第1子と同じ保育所に入所できるようにということに</p>

	<p>については、入所の際に一定程度の配慮を行っている状況にある。</p>
会長	<p>新妻委員からあった、育休中に保育所利用できるという制度を導入することによって、待機児童が増えるのではないかとこの部分について、この1年くらいの育休中の保育所退所の状況などをわかる範囲で構わないので、その辺を補足してほしい。</p>
事務局	<p>たしかに、今まで育休中の保育所退所についてお願いしていて、そこに枠ができて、その枠に入れば待機児童がいくらか解消されてはいるが、そこが必ずしもマッチングしている状況ではない。</p> <p>必ずしも待機児童が入れないという状況の中で、現在保育所に預けている子どもで、保育の継続性・児童の発達面を考えると、やはり、継続入所を優先すべきと考えている。</p> <p>そういった中で、待機児童については解消に努めて参りたい。</p>
会長	<p>新妻委員、ただいまの補足説明でよいか。</p>
A 委員	<p>待機児童が増えて大変だろうということよりも、認可施設で預かり、しっかりとみていただくことが大事なのではないかと思う。</p> <p>これまでの会議でも、新たな小規模保育や事業所内保育等、保育ママの制度など、大事な制度だと思うが、そういうところへの需要が高まっていくとは思いますが、そういうところで虐待が起きないように対応が必要だと思う。待機児童が急激に増えている地域では、施設だけみて預けた結果、虐待などの悲しいことが起きているので、そのあたりを注意していかなければいけないという趣旨である。</p>
会長	<p>いずれにしても、待機児童を解消するだけでなく、質の問題の問われることになると思うので、そういうことも十分に勘案しながら、平成28年4月から、育児休業中の保育所利用に制限を設けないということについて、児童福祉専門分科会としては、了となるがよいか。</p>
C 委員	<p>ここ何年かの退所者の数・実績の問題があると思うが、対応できる数なのかどうか、具体的に想定して対応策を考えていく必要があるのではないかと考える。</p>
会長	<p>具体的な対応策が必要だというご意見はもつともだと思うので、どう対応していくのかは、対応策を真剣に考えていく必要がある。</p> <p>育休中に利用に制限を設けないことには同意するが、その先、どのような対応していくのか具体的に考えていく必要があるというご意見であ</p>

	<p>った。</p> <p>A保育所に空きがでて、B保育所に入りたいということもあるので、必ずしもマッチングされる訳ではないが、いずれにしても待機児童があつてはならないので、育休中に利用を認めながらも、待機児童の解消を進めながら、保育の質を低下させないような対応を考えていくということになるかと思う。</p> <p>については、平成28年4月から、育児休業中の保育所利用に制限を設けないということについて、了とさせていただきます。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

② 教育・保育施設（公立）の整備のあり方（案）について（資料2）

発言者	発言内容
事務局	資料2に基づき説明（こどもみらい課長）
会長	<p>事前に事務局より答申の送付があり、その中身の要約も含め説明していただいた。</p> <p>前回の会議では、ハード面しか言っていないのではないかと、ソフト面で、いわき市の子育てはどうするのかという部分が欠落しているのではないかとご意見があったので、そこを十分にお伝するため、少し説明に時間がかかったのだと思う。</p> <p>皆さんの方から、ご質問・ご意見あればどうぞ。</p>
D 委員	<p>昨年度からこの会議に参加させていただいて、様々な自分の思いなどもお伝えしてきたと思うが、幼少期における子どもの教育は大事だとは思いますが、幼少期だけでその子どもを判断できるものではないと思う。</p> <p>このネウボラのイメージをみると、子育て期が小学校に上がる前までのような表現になっているが、親としては、子育てというのはずっと続くものであって、私は、小学校3年生と1年生、その下にも子どもがいる。</p> <p>考えてみると、幼稚園の時は、自分が選んでいる幼稚園に通っているので、満足のいく教育がなされていると思うが、小学校に上がると、色々な幼稚園・保育所に通ってきた子どもたちと学びを進めていく中で、どうしても差があり、現状として、ほとんど学級崩壊という状況が続いて、うまくカリキュラムが進んでいかない状況が続いて、それが、子どもの内心の面で、とても苦痛に思っている面が多くあるようで、校長先生や先生方には、大変よく相談にのっていただいているし、それに対する対応もしていただいているなど感じている。</p> <p>これまで、産まれてから5～6歳までに関わる話をする機会が多かったが、目標とするところは、いわき市で子育てをする中で、どんな子どもに育て、どんな大人になっていくのかというところを目標にしてい</p>

	<p>るので、ビジョンというか、ほんとに切れ目のないような、いわき市からこういう子どもが育ってほしいという中で、施設もそうですし、職員の質というのに関わってくるかと思うが、小学校・中学校・高校と上がって、親から手は離れても、子育て期はずっと続いているので、そのサポートという点が不安だと感じた。</p>
<p>会長</p>	<p>その他、ご質問・ご意見あるか。</p>
<p>E 委員</p>	<p>私もネウボラの話に関心があり、産前・産後サポート事業や産後ケア事業を強化するとなっているが、このあたりについて、具体的にどのようにやるというところまで、すでに考えているのかお聞きしたいと思った。</p> <p>男女共同参画の方のイベントで、3月13日に内郷で行われる講演会に、NPO法人マドレボニータの代表の吉岡マコさんの講演があるが、日本では産後ケアの活動している民間団体としては、トップクラスの団体なので、そういったところの話も参考にされたらいいのではないかと感じた。</p> <p>また、伊藤委員からお話があったとおり、たしかに、小学校入学前までの部分というところと、学校に入ってからのところとみると、学校に上がってしまうと、学校と親との関わりだけで、放課後であったり、放置されてしまう時間が長かったり、親の不適切な対応に対して先生もなかなか踏み込めないというところもあるのかなと感じていて、児童相談所に行くほどでもないようなケースでも、親御さんに相当関わらないといけないケースも多いなと感じていて、何かできないかなというところで、このネウボラが機能するといいのではないのかなと期待を持てる制度だと思ったので、頑張っていたきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>その他、関連でご質問・ご意見あるか。</p> <p>幼少期で学校に上がるまでは夢がありそうだが、その先どうなっていくのかという心配、また、子ども・子育て会議が立ち上がって3年目になり、皆さんも理解してきていると思うが、教育の現場までどうやってつなげるのかという心配があり、放課後児童クラブなどをはじめ様々な事業があるが、加えて、ネウボラが充実してほしいという意見があったが関連して事務局から説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>たしかに、小学校に入学してしまうと、学校がメインの関わりになっているという状況があるかと思う。</p> <p>今回、幼稚園・保育所というテーマで議論をしていただいているが、先ほど、公立幼稚園の取組みの中で、幼小連携ということで少し説明さ</p>

	<p>せていただいたが、現場レベルの話を知ると、小学校1年生の時に、担任の先生が幼稚園でやってきた内容を知らない、もう一度同じ内容をやったり、いきなり違う内容をやったり、その連続性が非常に大事だという認識について、現場を含め持っている。</p> <p>そのために、小学校側からの働きかけもあるし、幼稚園側からの働きかけもあって、さらにケーススタディなどを通じて得られた知見について、各公立・私立幼稚園を含めて、その知見をフィードバックしていく連携の取組みをしているところである。</p> <p>それから、学校教育期における取組みですが、昨年度議論していただきとりまとめた、子ども・子育て支援事業計画には、福祉的な施策だけではなく、学校教育期になってからの関わりのある取組みも位置付けている。</p>
事務局	<p>追加で説明させていただくが、こども家庭課に子育てサポートセンターという施設があるが、その中で発達支援システムという、幼稚園・保育所でこういう指導をしてきた、又は保護者がこういう指導をしてほしいというシートを幼稚園・保育所の職員や保護者が書いて、それを進学する小学校に伝達するシステムを現在検討中で、来年度からそのシステムを開始する予定となっている。</p> <p>また、学級の中で落ち着きのない子どもについて、どのように学級の中でうまく機能させて行くのかという、ソーシャルスキルトレーニングとか、ペアレントトレーニングというのを、学級の中に入って行って支援していくような仕組みづくりを現在行って、今年度は小名浜二小の中でモデルとして行って、来年度以降、順次増やしていく予定となっている。</p> <p>いわき版ネウボラについては、現在、親子健康手帳交付時にアンケート調査を行い、家庭ごとの問題点等を把握して、保健師がその家庭のフォローアップを行っていたり、産後ケアやいわきっ子健やか訪問ということで、生後4か月までの子どもがいる家庭に、保健師や助産師が訪問し相談等を行っているほか、乳幼児健診など各ライフステージに合わせた支援を行っているが、これらをトータルして、ネウボラとして、切れ目なくライフステージに合わせた支援を行う仕組みづくりを平成28年度には本格的に検討していきたい。</p>
会長	<p>今説明を聞いていて思ったが、伊藤委員の心配は、就学前やってきた内容を学校につなげていくことなど、具体的に予定している・やっているのではなく、そんな議論がされるといいなという想いがあり、たしかに色々な事業があるが、そういうことを教育につなげていければという議論ができればという提案だったかと思う。</p>

	<p>今回は、教育・保育施設で幼稚園と保育所に限定しているので、3月末、来年度と引き続き分科会を継続していくので、機会を捉えて、ステージごとに色々と議論しながら、報告事項などで随時報告していただくと、どこまで進んでいるのかということも見えてくるのかと思う。</p>
F 委員	<p>説明をしていただいた内容については、十分理解することができた。</p> <p>本日、施設整備のあり方として協議事項の2番目ということで、今回は、何か具体的な形にして答申するというのではなくて、これからそれを進めていくための入口の資料ということでよいのか。</p>
会長	<p>この案件は、前回の会議で提案しているが、その時の資料はハード面だけで、いわき市の子育てをどうしていくのかという視点がないのではないかとということで、それを前段に加えたところである。</p> <p>前回提案した内容を網羅した形で今回示しているとは思いますが、今回の会議で何を諮るのかということを変更して確認したいということなので、事務局より説明いただきたい。</p>
事務局	<p>前回、公立幼稚園と保育所の施設のあり方として付議させていただいたが、今回ご説明した資料も前回資料と内容的には同様のものとなっている。</p> <p>結論で申し上げますと、前回の資料だと、公立幼稚園はすべて民間にその機能を移していく、それは、施設ごと民間移譲するというのではなく、児童の状況に応じて、規模を確保する点で統合などの再編を進めていき、ある程度の規模が確保された施設が残ることも考えられるが、それも最終的には民間移譲を検討していく必要があるのではないかとということである。</p> <p>次に公立保育所だが、基本的に運営主体が変わっても現存数は当面維持するものの、市街地は民営化、中山間部は公立という現状の方針を踏襲するというもの。</p> <p>さらに、認定こども園については、基本的に公立では整備は行わないというもの。</p> <p>要約するとこの3点ということになる。</p>
会長	<p>ですから、今回出したこの資料で、この前の資料がどこに網羅されていて、どこがその内容なのかははっきりしないと皆さんが理解できないのではないかとということである。</p>
事務局	<p>今回付議して、皆さまにご意見いただきたい部分は、資料2の14ページに公立幼稚園の方向性を述べており、それは、統廃合による集約化、</p>

	<p>将来的な民間移譲、それから、公立保育所は 16 ページに、公立保育所については、運営主体が変わっても現存数は当面維持、民間移譲は、中山間部は公立保育所が保育の役割を担い、保育需要が高い都市部では基本民営化するが、すべて民営化ではなく、ネウボラの仕組みの中で公立が役割を担う部分もあるということである。</p> <p>以上が、前回資料を盛り込んだところである。</p>
会長	<p>前回の資料と今回の資料の関係性を改めて説明していただいたところで、改めて宮内委員いかがか。</p>
F 委員	<p>そうすると、本日の協議事項として、市としての方向性、私たちが意見を出す部分としては、13 ページから 17 ページあたりが重点的ということか。</p>
会長	<p>例えば、幼稚園・保育所の今後の方向性というのが、前回の資料にあったが、最終的に公立幼稚園はすべて民間、廃止・統合による集約後民営化の検討としている。公立保育所は、運営主体が変わっても現存数は当面維持、市街地は民営化、中山間部は公立という現状の方針を踏襲し、未耐震の場合は耐震化後という、前回と同様の中身である。</p> <p>あと、公立による認定こども園の整備は基本行わないという内容である。</p>
F 委員	<p>そういった施設の方向性がこういう中身でいいかという内容に対する意見で、耐震化の順位や、民営化の施設がどの施設かという具体的な部分は触れないということで、ネウボラという検討も引き続き協議していくということでよいか。</p>
会長	<p>そうである。これは予算との関係もあると思う。</p>
事務局	<p>補足説明になるが、前回お示しした資料が、簡単に言うと、過去の経過は少しかなく、公立幼稚園を集約していくというと、各委員の皆さまから、夢も希望もないという意見があって、今回の資料と前回の資料は、補完し合うような形で、本日、改めて理解を深めていただいた。</p> <p>これは、方針というもので、実施計画というのが 2 段階目にあり、方針がないと実施計画が進んでいかない。</p> <p>このあと、幼稚園業務については、教育長権限になっている部分があるため、教育委員会に諮らなければならず、諮ったうえで、最終的に庁内の合意をとる必要がある。</p> <p>ある程度の概ねの方向性が決まったら、次に実施計画を委員の皆さま</p>

	<p>にお示しするような形になる。</p> <p>また、基幹型保育所の検討もあり、ネウボラについても今回追加して掲載している。</p> <p>施設のあり方というのは、過去の伝統的な部分があり、そこを進めていく中で、新たなネウボラという部分も融合させながら進めていきたい。</p>
会長	<p>3月にも会議があるが、方針を決めて、会議の中で確認・協議し合いながら進めていくということである。</p> <p>この案件については、そういうことで了承とする。</p>

(2) 報告事項

① いわき子ども・子育て支援サイトの開設について（資料3）

発言者	発言内容
事務局	資料3に基づき説明（こどもみらい課長）
会長	事務局から説明があったが、ご意見・ご質問あるか。
E委員	<p>早速、サイトを確認したが、子育て支援のところから、子育てサイトのURLを貼っていただかないと、いわきあいあいはわかりづらいので、リンクのわかりやすさをお願いしたい。</p> <p>また、友達も見ている、例えば、公園情報とかで写真があって、この公園にどういう遊具があるのかというのがわかればいいと思うので、そういうわかりやすさを充実させるための、利用者の意見を受け付けられるしくみを作っていただければと思う。</p>
会長	立ち上げたばかりなので、これから皆さんで充実させていくということだが、ただ今のご意見について、事務局から何かあるか。
事務局	そういったご意見をいただきながら、運用する中で、さらに磨き上げをしていきたいと考えている。
事務局	<p>今の説明に補足させていただくが、子ども・子育て支援サイトについては、現在の市ホームページのトップページにリンクを昨日付けで貼っており、さらに、2月15日には市のホームページがリニューアルとなる予定だが、そのトップページにもわかりやすくリンクを貼ることとしている。</p> <p>また、利用者からのご意見ボックスのような機能も加えていくほか、関係機関等にもこれから周知して、徐々に活用していただけるようにする。</p>

	<p>さらに、運用していく中で、様々なご意見を踏まえて充実させていきたいと考えている。</p>
会長	<p>まだスタートしたばかりなので、ここにいる委員からの声も届けながらより充実したものになるように、私たちも心がけたいと思う。</p> <p>その他、ご質問・ご意見あるか。</p>
事務局	<p>1点だけ確認させていただきたい。</p> <p>前回と今回で、公立幼稚園・公立保育所の方向性をお示ししたが、これで分科会としての了解をいただいたということによろしいか。</p>
会長	<p>結構である。ただ、今年度のまとめとして、3月23日にも会議を開催する予定はあり、今後、この中身の表現や体裁をどうしていくかということはあるが、前回と今回の資料を合わせて了承するという事で、委員の皆さんにお諮りし、了解をいただいた。</p> <p>これで、本日与えられた議事のすべてを終了する。</p> <p>以上をもって、私の本日の任を解かせていただく。</p>

以上